

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間は非難時の判断が夜勤職員1名に委ねられているため、より具体的な火災、災害を想定しての避難誘導訓練の実施が必要。 また、昼間の合同避難訓練についても実施する必要がある。	避難訓練を行うとともに、夜間の災害についての対応に重点を置き、地域行政の協力を得られるようにする。	スプリンクラーが設置され、改めて夜間時の訓練をおこなう。また、地域住民代表(運営推進委員)の協力を得てより具体的な訓練を行う。	2ヶ月
2	26	カンファレンスを職員のみでおこなっており、家族の意見が反映されにくい。定期的なケアプランの見直しの評価が明確でなく、見直しが反映されるような記録の工夫が望まれる。	本人及び家族と具体的な意向について十分話し合いをおこない、ケアプランに反映していく。	本人及び家族の意見も踏まえてケアプラン見直す。また、その評価及び結果を明確に反映した介護計画を作成する。	6ヶ月
3	6	やむをえない身体拘束について、家族との話し合いの結果や同意した内容について記録がない。	身体拘束をしないケアについて職員間でよく話し合い取り組む。	引き続き研修を行い、職員の意識向上を図るとともに、家族や本人とも十分に話し合う。その結果については必ず記録及び同意書を作成する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。